

グリーティング

寒中お見舞い申し上げます。

お正月気分はすでに遠く、ひどく寒い日が続いています。さて日本にはありがたいことに入浴の習慣があります。42度以上の高温浴は新陳代謝が活発になり疲労回復に効きます。ゆっくりリラックスするには40度以下の温浴がいいそうで、1度の温度差でその効果はいろいろ違うようです。又、湯治といわれる様に各地の温泉地の環境や気候による水質の違いでも効果はさまざまです。温泉への旅は日常から離れる解放感で、精神的肉体的に大きな癒しになりますね。光は明るくなってきましたが、まだまだ寒さは続きます。どうぞご自愛ください。



S.K

技工情報

◎CAD/CAM冠の脱離の原因

1) 接着阻害因子の除去が不十分

CAD/CAM冠の内面および支台歯表面に唾液やか離着材などが残っていれば、接着阻害因子になってしまうため、十分に除去する必要がある。

接着阻害因子の例

CAD/CAM冠の内面	切削粉、石膏粉、油分、水分、試適後の唾液や血液
支台歯	唾液、血液、水分、プラーク、ステイン、仮着材や仮封材の残り

2) アルミナサンドブラスト処理、表面処理剤塗布不良

アルミナサンドブラストや表面処理剤の処理をおこなわないと、接着性レジンセメントとの接着効果が十分に得られないため、初期接着が低下するだけでなく、口腔内での温室変化や水分による耐久性も著しく低下する。また、表面処理剤の塗布量が過剰だったり、塗布後の感想が不十分だったり、塗布後に長時間放置して塗布面が汚染してしまったりする場合にも接着性が低下する原因となる。